第２学年＊組　国語科学習指導案

指導者　三村　聖子

１　単元名　　筆者の書き方を参考にして「私の枕草子」を書こう

２　目標

○　枕草子に描かれているものの見方や考え方をとらえ，時代を超えても変わらない普遍的なものに気付くことで古典を身近なものとして感じ取ろうとする。

（国語への関心・意欲・態度）

○　筆者の枕草子の書き方を参考にして自分の思いや考えを書くことができる。　（書く能力）

○　古典の文章に表れたものの見方や考え方に触れ，作者の思いを想像することができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

３　単元について

（１）生徒観

本単元の指導に当たり，実態調査を実施した。以下はその結果である。

【実態調査】　（男子＊人　女子＊人　計＊人　＊月＊日実施）

１　古典の学習は好きですか。

・好き　＊人（昔の文章が読める，おもしろい，昔の人の考えが文章にこめられている）

・どちらでもない　＊人（よく分からない部分がある）

・苦手である　＊人（読みづらい，仮名遣いが苦手）

２　現代仮名遣いに直しなさい。（「竹取物語」　正しく直せた人数）

①いふ→いう　＊人　②よろづ→よろず　＊人　③うつくしう→うつくしゅう　＊人

３　自分の思いを文章にすることは好きですか。

・好きである　＊人（自分の思いを伝えたい，自分の思いを書くのが好き）

・苦手である　＊人（書くことが苦手，文章を書くことが得意ではない）

４　思いを文章にするときに困ったり悩んだりすること（複数回答）

・文の構成　＊人　・自分の思いをうまく伝える書き方　＊人　・書き出し　＊人

本学級の生徒は好奇心旺盛で，質問しながら学習を進めたり，話合い活動を意欲的に行うことができる。上記の実態調査からは，生徒たちは古典学習への抵抗感が少なく，楽しみにしている生徒が多いことが分かる。また，簡易な文章ならば仮名遣いを正しく直して読む力も定着している。しかし，約半数近い生徒が「自分の思いを文章にするのが苦手である」と答えており，書く活動に対する苦手意識をもつ生徒が多く見られ，構成や自分の思いをうまく伝える書き方，その表現のしかた，書き出しなどに苦慮する生徒の様子が伝わってくる。

（２）教材観

「徒然草」に続いて学習する「枕草子」は美しく流れるような古文のリズムを持つ文章であり，音読や朗読に適した教材である。本単元では，古文のリズムや特徴を味わうともに，古人のものの見方や考え方に触れ，作者の思いを想像することをねらいとしている。「枕草子」には作者清少納言の美意識や鋭い感受性を感じさせる優れた表現が多く，古人がどのようなことに心を動かし，どのような思いを抱いていたのかを知ることができる。文章に即して内容を捉えたり，繰り返し音読したりして，古人のものの見方や考え方・感じ方に興味・関心をもたせるのに適している。

（３）指導観

本教材の具体的な指導については，まず仮名遣いや古語から生じる読みづらさを感じる生徒

の実態を踏まえて音読や暗唱を繰り返して行う。また，筆者が何にどうして心を動かされるのかを考えさせることで，昔の人のものの見方や感じ方に触れさせ，時代を経ても変わらない普遍的なものがあることに気付かせる。そのために，筆者の文章の書き方を参考に，「私の枕草子」を書く活動を設定する。ここでは「枕草子」本文を参考に素材集めをしたり，文章の組み立てを考えたりする活動を通して，自分の経験を通して見たこと，聞いたこと，感じたことを自由に表現できるようにする。そして，書いた文章を交流することで「自分の思いをうまく伝える書き方」について友達からアドバイスをもらうなど意見を交換し，生徒一人一人が相手意識をもちながら「思いをうまく伝える書き方」について学び合う。

4　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・枕草子に描かれているものの見方や考え方をとらえ，時代を超えても変わらない普遍的なものに気付くことで古典を身近なものとして感じ取ろうとしている。	・筆者の枕草子の書き方を参考にして自分の思いや考えを書いている。	・古典の文章に表れたものの見方や考え方に触れ，作者の思いを想像している。

5　指導計画（５時間扱い）

次	時	学習活動	評価観点			評価規準
			関	書	言	
一	1	古文を読み，古語の意味や内容を知り，学習のねらいをつかむ。	◎		○	「枕草子」や筆者について興味・関心をもって取り組もうとしている。
二	2	古文を読み，筆者の季節に対する見方や考え方を理解する。	○		◎	作品の内容を大まかに捉え，筆者の美意識について理解している。
	3 4	作者の文章の書き方の特徴を考え，書く材料を集める。	○	◎	○	日常生活の中から，自然や自分の興味・関心のある事柄について書く材料を集めながら自分の考えをまとめている。
三	⑤	作者の書き方を参考に自分の思いや考えを書く。	○	◎		自分の思いや考えが相手に効果的に伝わるように，描写を工夫して書いている。

6　本時の指導

（1）目標

筆者の書き方を参考に，自己設定したテーマについて思いや考えを書くことができる。

（2）本校人権教育との視点と関連について

グループでの意見交換を通して，本校の人権教育の視点「相手の立場を尊重し，思いやりのある生徒を育てる」に迫りたい。

（3）準備・資料

①作業プリント　②付箋（黄色・ピンク）

（4）展開

学習内容・活動	準・資	指導の手立てと評価（○）
1　本文を音読する。 2　本時の学習課題を確認し，見通しをもつ。		・全員で読むことで，内容の想起や意欲を喚起し，学習への導入としたい。
清少納言の書き方を参考に，自分の思いや考えを書こう。－「私の枕草子」－		

3　筆者の書き方を確認する。 ア　「○は○。」という簡潔な書き出し。 イ　最初の一文は体言止め。 ウ　理由を示す。 エ　対照的な理由を否定的に示す。 オ　一文が短い。	①	・前時の学習内容を振り返ることで，書き出しや構成などを確認し，活動への見通しをもたせるようにする。
4　自己設定したテーマについて，自分の思いや考えを書く。 ア　春は○○。 イ　○は○○。 ・自己設定したテーマについて，筆者になりきって，自分の思いや考えを書く。 ・予想されるテーマ 好きな季節 好きな食べ物 趣味 家族 スポーツ　　など		・四季に限らず身近な話題からテーマを決め，自分のイメージや構想メモをもとに書かせるようにする。 ・ア，イのどちらの書き出しでも良いことを確認する。 ・古文に戻ってどんな書きぶりだったか振り返りながら書くように指示する。 ・机間指導を行い，書く内容で困っている生徒には具体的なイメージがもてるような声かけをする。
	②	・書き終わった生徒にはもう一度読み直しをさせ，書いているときに，表現について困ったこと，悩んだことがあったらピンクの付箋にその内容を書くように指示する。 ○ 自分の思いや考えが相手に効果的に伝わるように，描写を工夫して書いている。 （書：作業プリント） 〈十分満足できる視点〉 ・筆者の書き方を参考に，より多くの描写を使って分かりやすく書いている。 ・筆者の書き方を参考に自分の言葉で書いている。
5　できあがった作品をグループで読み合う。 （1）付箋を使って交流する。 ア　黄色の付箋には，表現のよさや参考になったことなど，読んだ感想を書く。 イ　ピンクの付箋には，友達への助言を書く。 （2）発表する。	②	・読みの視点を確認する。 書き出しは「○は○○」で，体言止めを使っているか，自分の考えに対する理由が簡潔に書かれているか。 ・ピンクの付箋に書かれてある内容について，自分だったらどのように表現するかを考えて友人へのアドバイスを書くように指示する。
6　本時の学習を振り返り，次時の課題を確認する。		・本時の学習を振り返り，感想をノートに書くように指示する。

『枕草子』　春はあけぼの（第一段）

組　　番　　氏名

季節	春	夏	秋	冬
時				
取り上げている事柄				
作者の感じ方				
感じたこと思ったこと				

《枕草子》素材を集めよう①

◇自分が「をかし」「あはれ」と思うものを書いてみましょう。

組　　番　　氏名

	春	夏	秋	冬
自然				
食べ物				
行事				
動物				
天候				
自由に思い浮かぶもの				

◇練習

は

☆書く☆